

角館婦人会から、角館地区の小中学校の児童生徒のために役立ててほしいと、300万円の寄付をいただきました。

5月1日、市役所角館庁舎で行われた贈呈式には、荒木和子会長のほか4人の会員が出席。荒木会長から、田口市長へ目録が手渡されました。荒木会長は、「次代を担う角館の児童生徒の皆さんに活用していただくのが一番と思い、この度の寄付になった。児童生徒の健全育成につながることを願う」とあいさつしました。

これは、昭和37年に初代会長の田口昌さんが「緑葉会部分林組合」を組織して、国と契約を締結し、外ノ山の一部に婦人会員が植林したもので、昨年12月に60年の契約期限を迎えた分収造林事業の収益によるものです。

児童生徒の健全育成のために 角館婦人会から寄付を いただきました



荒木会長と婦人会員の皆さんから目録が田口市長に手渡されました。

善意のめぐみがこころに届きます

株式会社万景から、テニスの普及と市民の余暇活動を充実させてほしいと、外ノ山テニススクールの改修工事を寄贈いただきました。

5月16日、市役所西木庁舎で行われた贈呈式には、同社の西宮幸治代表取締役と西宮誠係長が出席し、田口市長へ目録が手渡されました。

西宮代表は「現状のテニスコートは、痛みが激しく開放できる状況にないことを理解している。地元を根ざす企業として、少しでも市民の皆さんのお役に立てればとの思いから寄贈するもので、改修後は、定期的なメンテナンスを行い、未永く利用されるテニスコートになれば幸いです」とあいさつがありました。

テニスの普及と余暇活動充実のために 株式会社万景から寄贈 いただきました



西宮代表取締役（右）から田口市長に目録が手渡されました。

大曲支援学校せんぼく校 高等部 秋田内陸線駅舎で清掃活動

5月1日、大曲支援学校せんぼく校高等部の皆さん15人が内陸線駅舎の清掃活動を行いました。

この活動は、せんぼく校が開校してから、地域の方々や観光で訪れる皆さんに気持ちよく駅を利用してもらうことを目的に、毎年、春と秋に実施しています。学校設定教科である「観光」の時間に、地域の方々とのつながりをもつ機会として、賛同いただける地域の皆さんにも呼びかけて実施しました。

当日は、角館駅から内陸線に乗車した15人が西明寺駅で



八津駅で清掃活動をする大曲支援学校せんぼく校高等部の皆さん。

7人、八津駅で8人が下車し、それぞれの駅で清掃活動を行いました。八津駅では、普段から通学のためにこの駅を利用している櫻田湊さんも参加。櫻田さんは「自分の最寄り駅がきれいになってよかった」と感想を話していました。



各地の特産品を買い求めていました。

各地の特産品が大人気

姉妹都市・
連携交流都市で
物産展開催

角館の桜まつり期間中、仙北市の姉妹都市・連携交流都市（長崎県大村市、茨城県常陸太田市、秋田市）の物産展が4月22日、23日の2日間、市役所旧角館庁舎前の特設テントで開催されました。

大村市のカステラや常陸太田市のそば、秋田市からはいぶりがっこなど、地元でしか手に入らない品々が並び、買い求めるお客さんで賑わいました。

春の叙勲 危険業務従事者叙勲

令和5年春の叙勲と第40回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、仙北市からは次の方々が受章されました。心からお祝い申し上げます。（※年齢は受章時を掲載）

<春の叙勲>

瑞宝単光章

消防功労



戸澤幸作 さん
(74歳 角館町川原)

元仙北市消防団分団長。昭和51年、角館町消防団に入団。平成21年から平成26年まで分団長として活躍。入団より38年余りの長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。また、教養訓練に参加するなど、団員の資質向上に尽力されました。

<春の叙勲>

旭日双光章

地方自治功労



八柳良太郎 さん
(76歳 角館町小勝田)

元仙北市議会議員。平成8年、角館町議会議員に初当選以来、令和4年まで長きにわたり在職し、地方自治発展のため尽力されました。また、平成28年から平成30年まで、議員選出審査委員として豊富な経験をもって監査事務にあたり、市政発展に貢献されました。

<春の叙勲>

旭日小綬章

地方自治功労



稲田修 さん
(80歳 田沢湖生保内)

元仙北市議会議員。昭和44年、田沢湖町議会議員に初当選以来、令和4年まで長きにわたり在職し、平成5年から平成9年まで、田沢湖町議会議員を務められました。円滑な議会運営にその手腕を遺憾なく発揮し、地方自治発展のために尽力されました。

<危険業務従事者叙勲>

瑞宝双光章

消防功労



辻邦明 さん
(66歳 角館町八割)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防監。昭和50年4月、同組合に消防吏員として採用されて以来、消防本部消防次長として平成29年3月に退職するまでの長きにわたり危険業務に従事し、地域の安全・安心のために尽力されました。

<春の叙勲>

瑞宝単光章

消防功労



山手善美 さん
(73歳 角館町白岩)

元仙北市消防団分団長。昭和50年、角館町消防団に入団。平成25年から平成27年まで分団長として活躍。入団より40年余りの長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。また、若年層の確保が困難ななか、若手団員の確保に尽力されました。

<春の叙勲>

瑞宝単光章

消防功労



鈴木博 さん
(73歳 角館町西長野)

元仙北市消防団分団長。昭和48年、角館町消防団に入団。平成26年から平成27年まで分団長として活躍。入団より42年余りの長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。また、地域防災のため消防施設の拡充強化に尽力されました。

表紙の写真から



自転車の正しい乗り方を教わりました。大人に支えてもらいながら、正しい乗り方を練習しました。

交通安全のルールを守って 交通安全教室開催

4月28日、生保内小学校で交通安全教室が開催され、同校の全校児童のほか、だしのこ園の園児も参加しました。

この交通安全教室は、仙北警察署や安全運転管理者協会田沢湖支部などの共催で行われたもので、交通安全のルールを守り、正しい登下校や正しい自転車の運転ができるようにすることを目的に開催されました。

当日は、だしのこ園の園児や1・2年生はグラウンド内に信号機や横断歩道が設けられた交差点を使って、仙北警察署の職員から横断歩道の渡り方を教わりました。また、3年生はグラウンド内で自転車の正しい乗り方、4年生以上は学校周辺で自転車の安全な乗り方や交通ルールなどを教わりました。

生涯！学習しましょう 生涯学習奨励員に委嘱状が 交付されました

生涯学習奨励員は、地域住民の学習活動を奨励・支援し、生涯学習を活性化するために委嘱しています。

奨励員は、各々の得意分野でサークル活動や公民館活動を通じ活躍しています。やってみたいことや体験してみたいことなどがありましたら、奨励員や公民館、生涯学習課にご相談ください。



2年間生涯学習奨励員として頑張ります。

【生涯学習奨励員】(敬称略)

- | | |
|-----|--------|
| 会長 | 川和子 |
| 副会長 | 千葉正雄 |
| 副会長 | 新山栄子 |
| 委員 | 阿部真由美 |
| 委員 | 荒木田真由美 |
| 委員 | 大牧千佳子 |
| 委員 | 小田嶋比左子 |
| 委員 | 草薨悟鈴 |
| 委員 | 黒澤美堅 |
| 委員 | 小林龍子 |
| 委員 | 小松藤栄 |
| 委員 | 小齋高幸 |
| 委員 | 高橋るみ子 |
| 委員 | 高橋久子 |

任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日までとなっています。

第36回田沢湖マラソン

9月17日[日]

今年の田沢湖マラソンは、9月17日に開催されます。6月1日からエントリーの受付が始まりましたので、市民の皆さんも健康づくりや自身へのチャレンジとして、ぜひご参加ください。

なお、当日はコース周辺で交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。

エントリー方法など詳しくは、田沢湖マラソン公式ホームページ(右記二次元コードまたは仙北市ホームページ・イベント情報内リンクより)をご覧ください。

■エントリーについてのご問合せ
田沢湖マラソンエントリーセンター
(有)ラップシステム内
☎0463-35-6691

■その他問合せ
田沢湖マラソン実行委員会事務局
(観光文化スポーツ部スポーツ振興課内)
☎43-1116 ※問い合わせ窓口(特定非営利活動法人トップスポーツコンソーシアム秋田)につながります。
E-mail marason@city.semboku.akita.jp



田沢湖マラソン
公式ホームページ
QRコード

エントリーの締切は7月28日[金]



田口市長から一青妙氏(左)に任命証が交付されました。

台湾親善大使に 一青妙氏就任

5月9日、台湾親善大使就任式が「湖畔の杜」レストラン「ORA E」で行われました。

これは、台湾からの誘客促進と台湾とのさらなる関係深化を図っていくことを目的として任命するもので、日本と台湾にルーツを持ち、俳優とエッセイスト、歯科医師として幅広く活躍されている一青妙氏が、仙北市台湾親善大使に就任しました。

一青氏が昨年10月に仙北市国際文化交流協会主催の台湾関連イベントで講演を行ったご縁がきっかけとなって今回の就任となりました。

当日は、田口市長から一青妙氏に任命証が交付されたほか、台湾親善大使

台湾とのさらなる交流に



台湾の澄清湖と姉妹湖を締結している田沢湖をバックに就任式へ出席した皆さん。

の名刺と国指定の伝統的工芸品である榊細工の名刺入れが渡されました。

一青氏からは「仙北市と台湾が長年交流し続けてきたこのストーリーを、映画、小説、舞台化などの形で展開が考えられる。また、スポーツ交流や学校交流、文化交流など含めて、現在の台湾との交流はいろんな形で広がっている。台湾親善大使としてその手伝いをできればと思」と抱負を語ってくれました。

仙北市と台湾の親交については、仙北市誕生前の旧田沢湖町時代(昭和50年代)から関係が続いています。田沢湖と澄清湖の姉妹湖締結に始まり、北投温泉と玉川温泉の温泉締結や学校交流を目的とした姉妹校締結、相互交流を目的としたMOU(基本合意書)を田沢湖マラソンと高雄マラソンで交わすなど、密接な関係があります。

今後台湾と日本との交流活動が積極的に進められるなど、仙北市台湾親善大使の活動に期待しています。

株式会社ストロベリーファームと 連携協定を締結

4月25日、株式会社ストロベリーファーム(本社:仙北市)と夏秋イチゴの産地創出を目的とした連携協定を締結しました。

人口減少が続き、市の基幹産業である農業分野においても少子高齢化の影響を受け、生産者の高齢化や担い手不足により生産者が年々減少し、産業の衰退が危惧されている仙北市と市の工業団地を活用し、夏秋イチゴの栽培に取り組み、高収益ビジネスモデルを確立している株式会社ストロベリーファームが連携し、高収益農業ビジネスモデルを展開することで、夏秋イチゴの新たな産地を創出し、産業の振興と雇用機会の確保につなげ、地方創生の実現に資す



産地創出を目的とした連携協定書を交わす武田俊行代表取締役社長(右)と田口市長。

ることを目的とするもので、締結式でストロベリーファームの武田俊行社長は「夏イチゴの生産によって地方創生に少しでも役立つよう、誠心誠意取り組んでいきたい」と力強く話しました。

今後、勉強会などを開催し、高い収益が見込める夏秋イチゴ栽培農家を増やし農業の活性化に取り組めます。

栄光・表彰

第21回秋田県小学生
春季ソフトテニス大会

澤山・加藤ペア 第3位に

4月23日、第21回秋田県小学生春季ソフトテニス大会が横手市大森公園テニスコートで開催されました。

この大会に出場した澤山心咲(仙北市ジュニア)・加藤千尋(仙北スポ少)ペアは、55ペアがエントリーした女子の部で、第3位に入りました。

この大会の結果によって、同ペアは5月28日に山形県山形市で開催された山形カップへの出場が決まりました。



澤山心咲さん(右・西明寺小6年)と加藤千尋さん(左・太田東小6年)ペア。